

バリアフリーニュース（第14号）

2021年度報告

小学生や交通事業者を対象に
バリアフリー教室を実施しました！

国土交通省東北運輸局では、高齢者や障害のある方の社会参加を後押ししながら、皆さんが行動しやすい環境づくりを目指した取組を行っております。

その取組の一つである、「心のバリアフリー」（お互いに理解し合い、支え合う気持ち）の育成・促進を目的としたバリアフリー教室を毎年開催しております。以下、今年度実施しましたバリアフリー教室の様子をご紹介します。

実施日：令和3年6月24日（木）

実施場所：仙台市立七北田小学校

参加者：小学校3年生

協力：仙台市社会福祉協議会 泉中央地域包括支援センター

項目：高齢者疑似体験・介助体験

階段の昇降体験と椅子に座る体験を実施しました。介助者役の児童が体験者役の児童に寄り添いながら歩いている姿が印象的でした。また、階段の昇降の際に白く濁ったゴーグルを装着して前が見えづらいため、慎重に階段に向かっていました。

体験した児童からは、「高齢者は普段体が重く、動きづらいことが分かった。」や「階段を昇り降りする時、結構大変だった。」などの感想をいただきました。



実施日：令和3年6月30日（水）

実施場所：仙台市立住吉台小学校

参加者：小学校4年生

協力：仙台市社会福祉協議会 根白石地域包括支援センター

項目：高齢者疑似体験・介助体験、車いす体験

高齢者疑似体験グッズを装着した状態での歩行と軍手を着けてビーズを移動させる、ページをめくる体験を実施しました。軍手を着けることによって、普段よりも物を掴みにくくさせる効果があります。そのため、本来であれば簡単にできる作業に児童たちは苦戦している様子でした。

体験した児童からは、「高齢者がこんなに体が重いことや固いことが分かり、普段から大変な思いをしていることが分かった。」や「最初は足首に重りを着けても大丈夫だと思ったが、後からじわじわ重くなってきた。」など感想をいただきました。



実施日：令和3年10月18日（月）

実施場所：山形運輸支局

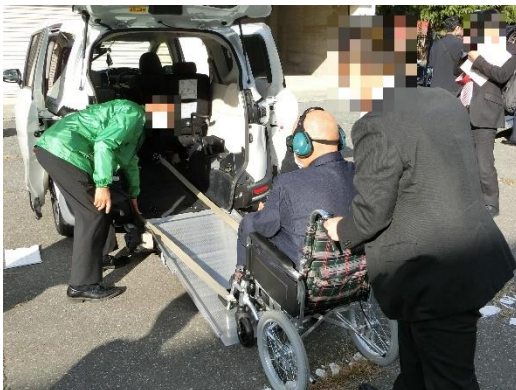
参加者：タクシー事業者社員

協力：山形トヨペット株式会社 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会
一般社団法人 山形県ハイヤー協会 山形県ハイヤー・タクシー協会

項目：車いす利用者の乗降・介助体験

山形県内のタクシー事業者を対象に、山形トヨペット株式会社及び社会福祉法人山形市社会福祉協議会の皆様にご協力をいただき、ユニバーサルデザインタクシー2台を使用した車いす利用者の乗降・介助体験を実施しました。山形トヨペット株式会社の職員からはユニバーサルデザインタクシーでの操作方法や特徴を、社会福祉法人山形市社会福祉協議会の職員からは車いす利用者に対する声かけや車いすの操作方法を説明していただきました。

体験した事業者の方からは、「ユニバーサルデザインタクシー車両を使った実際の動作確認や体験は参考になった。」や「地域交通の希望の星となるタクシー会社になるよう取り組んでいきたい。」といった感想をいただきました。



実施日：令和4年2月16日（水）

実施場所：仙台第四合同庁舎 2階会議室

参加者：東北運輸局職員

協力：特定非営利活動法人 仙台バリアフリースーツア－センター

項目：講話、グループディスカッション

仙台バリアフリースーツア－センターの皆様にご協力をいただき、当局の若手職員に対して『合理的配慮と差別解消』というテーマで、講話とグループディスカッションを行っていただきました。今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式での開催となりました。局長や局次長を始め多くの職員がオンライン上で聴講し、内容に興味を持っていただきました。

また、当局としては初のオンライン形式でのバリアフリー教室開催となり、来年度以降のバリアフリー教室の幅を広げる教室となりました。

参加した職員からは、「バリアフリーについての自分の考えやとらえ方について改めて考える良い経験になった。」や「障害のある方々の視点も持ちながら自分がこれからできること、今すぐにでもできることはないか考え、行動したいと思った。」などの感想をいただき、普段聴くことのできない障害当事者のお話から様々なことを学び、今後の業務に生かしていただければと思っております。



令和3年5月19日
東北ブロックユニバーサルデザイン推進本部
第1回本部会議を開催しました！

オリンピック・パラリンピック東京大会のレガシーとして、「真の共生社会の実現」を図るとともに、障害当事者目線に立ったバリアフリー・ユニバーサルデザイン施策を展開していくため、国土交通本省・各地方運輸局にユニバーサルデザイン推進本部を立ち上げました。

本会議では、東北運輸局交通政策部バリアフリー推進課長からバリアフリー法の改正について、移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の概要、そして東北地方のバリアフリー化の現状や目標について説明を行い、情報を共有しました。

東北地方は移動等円滑化促進方針とバリアフリー基本構想の策定率が他の地域と比べて低いことから、運輸局、整備局、そして航空局で局や部の垣根を越え、国土交通省一丸となって、策定促進を行っていくことが重要であることが話し合われました。

また、東北地方は全国でも高齢化率が著しい地域であるため、街のバリアフリー化を進めていくことが、これからの課題であると考えられます。東北運輸局といたしましても、高齢者や障害者の方たちも含めた全ての人が住みやすい街にしていくためのサポートをしていきますので、よろしくをお願いします。

【日時】 令和3年5月19日（水） 10：30～11：30

【場所】 仙台合同庁舎 B棟2階 共用第一会議室
（宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1）

【内容】 バリアフリー法改正、
移動等円滑化促進方針とバリアフリー基本構想について等



当日の様子

令和3年3月オープン！
JR フルーツパーク仙台あらはまは
バリアフリーに対応しています！

宮城県仙台市若林区荒浜に令和3年3月オープンしたJR フルーツパーク仙台あらはまのバリアフリーの状況を視察しに行ってきました。

まず、車椅子利用者用の駐車場が2台ある点や園内に入るためのスロープも近くにある点から、園内までの移動に配慮している印象を持ちました。園内の道は舗装されて平坦になっているため、スムーズな移動が可能になっています。また、イチゴ狩りができるビニールハウス内にスロープの設置、広い道幅の設定、そしてイチゴの摘み取り位置が通常の農園より20cm高い場所にするといった、車椅子を利用される方にも楽しんでもらえる工夫がされています。

JR フルーツパーク仙台あらはまにはレストランや地元農家が育てた野菜等が販売されている直売所がありますが、段差がないため不自由なく食事や買い物を楽しむことができます。

施設のあらゆる所にバリアフリー整備がされているため、多くの方が楽しめる施設になっていると思います。

↓施設の詳細はこちらからお願いします。

<https://stbl-fruit-farm.jp/arabama/>



車椅子利用者用駐車場



舗装された道



ビニールハウス内の様子

令和3年8月5日
第3回移動等円滑化評価会議東北分科会
を開催しました！

本分科会は、平成30年5月に改正されたバリアフリー法に基づき、国土交通省に設置された移動等円滑化評価会議の下に設置されており、障害のある方々の参画を得て、各種団体などとともに東北地域におけるバリアフリー化の進展状況の把握・評価を行うものです。第3回となる今回は、対面形式とWeb形式の併用開催となりました。会議では、バリアフリー法に基づく国の基本方針に定める整備目標の達成状況報告や今後の東北地方におけるバリアフリー化の課題等について意見交換を行いました。

委員からは、「各県ごとの意見交換会の実施」や「現地視察の実施」といった当事者参画の機会を望むご意見や積雪地域でのバリアフリー整備など東北地方特有の課題についてのご意見等が挙げられました。

東北運輸局としましては、委員の皆様から貴重なご意見をいただきながら、バリアフリー整備の促進に取り組んで参りますので、ご協力よろしくお願いたします。

【日時】 令和3年8月5日（木） 13：30～15：00

【場所】 TKP ガーデンシティ仙台 ホール21A
（仙台市青葉区中央1-3-1 アエル21階）

【出席者】 有識者、高齢・障害者団体、
施設設置管理者・関係協会、関係行政機関など



当日の様子

【内容】 バリアフリー化の進展状況の把握・評価についてなど

↓会議の詳細はこちらからお願いします。

第3回 移動等円滑化評価会議 東北分科会（東北運輸局ホームページ）

https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-sub01_tohokubunkakai_3.html

JR 仙石線松島海岸駅の駅舎が バリアフリー整備されました！

令和3年11月15日に、JR 仙石線松島海岸駅（宮城県松島町）の新駅舎の使用が開始されました。こちらは平成30年3月に策定された「松島町バリアフリー基本構想」に基づく公共交通特定事業に位置づけられたものとなっていて、ホームと改札を移動できるエレベーターやバリアフリートイレ（多機能トイレ）といったハード面の整備と共に、多くの外国人観光客が利用するという松島海岸駅の特徴を考慮し、多言語表記に対応した案内版の設置といったソフト面の整備もされました。また、新駅舎はバリアフリー化されただけでなく、松島のお土産やカフェ等の店舗がオープン、周辺の観光案内情報を発信するディスプレイの設置等により多くの方が利用しやすい駅となっています。

※「松島町バリアフリー基本構想」は、バリアフリー基本構想の基本的な対象となる高齢者や障害者等の住民に加え、観光客を対象とした計画となっていて、すべての方の移動が円滑に行われるユニバーサル社会の実現を目指しています。また、東北地方で「町」がバリアフリー基本構想を策定した唯一の事例であり、全国的にも珍しい事例となっています。



ホーム用エレベーター



バリアフリートイレ

令和4年3月10日
第2回バリアフリープロモーター会議
を開催しました！

昨年度に第1回を開催した東北運輸局バリアフリープロモーター会議の第2回をこの度開催いたしました。バリアフリー教室の開催状況等東北運輸局の取組やバリアフリー法に基づくマスタープラン・基本構想の概要や東北地方の計画策定状況をバリアフリープロモーターの皆様へ報告いたしました。東北地方の計画策定状況が全国平均と比べて低いことから、バリアフリープロモーターの皆様から策定促進活動を行う際に工夫すべき点や他地域の事例を紹介していただいた等、今後の取組に対して貴重な意見をいただきました。

東北をより住みやすく暮らしやすい街にしていくためには、マスタープラン・基本構想の作成が必要になっていきます。我々は、そういった動きのサポートに努めていきますので、よろしくお願い致します。

※バリアフリープロモーターとは、バリアフリーに関する有識者、基本構想の作成やボランティア活動において熱心な活動をされている方々のうち、地方運輸局等の行うバリアフリー施策において活動していただいている方です。

このニュースは、バリアフリー関係の話題を中心にお届けしています。お問い合わせがございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。



東北運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課
〒983-8537 仙台市宮城野区鉄砲町1番地
仙台第四合同庁舎 3階
TEL 022-791-7513
FAX 022-791-7539